



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2017年7月8日(土) 9時00分～ 14時30分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員／4名(内、午後のみ1名)、 団体会員(明石高専:午後のみ)／8名、 魚住まち協／3名(内、午後のみ1名)、 事務局(午後のみ)／1名、 計／16名

● 午前

今日の金ヶ崎公園は、梅雨の曇り空のもと蒸し熱く、少し体を動かすと汗が噴き出すような一日でした。朝9時に公園会議室に集合し、エコウイング会員3名と魚住まちづくり協議会2名で、公園内の観察コースを市民自然図鑑の昆虫観察をしました。

● 午後

午後は、団体会員の明石高専の先生と学生8名をはじめ11名の追加参加があり、全部で16名が公園に里山整備に取り組みました。明石高専の皆さんは里山の常緑樹除伐や下刈り作業に、その他のメンバーは公園内の水路の特定外来種「オオフサモ」の除去やごみの清掃などに、それぞれ取り組みました。

なお、午後の作業に先立ち、兵庫県青少年本部の「ひょうご子ども・若者応援団」事業から提供された「熱中対策水」が参加メンバーの皆様に配られました。

● 次回の活動は8月6日(土)の予定です。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

昆虫観察の様子(その1)



里山の下刈り作業



昆虫観察の様子(その2)



左の場所の下刈り作業後の様子



常緑樹の除伐作業



オオフサモの除去作業



水路の清掃作業



熱中対策水の配布



活動後の参加者集合写真



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日、金ヶ崎公園の昆虫観察で確認し、撮影した昆虫などを紹介します。今日の金ヶ崎公園は気温も高く、早くもアブラゼミの鳴き声が聞こえました。その中で、特にチョウやガ、コウチュウ、カメムシ、ハチなどのなかまが色々と姿を見せてくれました。幼虫もいくつか確認できました。

ナミアゲハ



クロアゲハ



コムスジ



ヒメウラナミジャノメ



ガのなかま



樹液に集まるカナブンの群れ



セマダラコガネ



マメコガネ



オオホシカメムシ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

ジガバチのペア



ガの幼虫(その1)



ガの幼虫(その2)



今日撮影できたのは、常連のハクセキレイとふもとの民家近くのツバメの幼鳥だけでした。気温が高すぎたのか、あまり色々な野鳥の姿や声は確認できませんでした。

そのほかの生物では、爬虫類のカナヘビを確認しました。

植物では、公園奥の水源の池に白いセリの花がたくさん咲いていました。そのほかに、うす紫のホタルブクロの花や、小さなスズランのようなシャシャンボの花も咲いていました。

ハクセキレイの幼鳥



ツバメの幼鳥



カナヘビ



白いセリの花



ホタルブクロの花



シャシャンボの花

